

スイミー日記をかこう！「ぼくたちはスイミー！！」

「スイミー」 レオ・レオニ 文

指導者 沖埜 卓美（1組） 稲垣 綾乃（2組）

1 日 時 平成 29 年 11 月 24 日（金）

2 学 年 第 1 学 年 1 組 32 名 2 組 32 名

3 単元について

【単元観】

本単元は、学習指導要領解説国語編第1学年及び第2学年「C読むこと」の目標（3）「書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付いたり、想像を広げたりしながら読む能力を身に付けさせるとともに、楽しんで読書をしようとする態度を育てる。」を受け、指導事項ウ「場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むこと。」を中心に指導していく。本単元では中心人物の行動から想像を広げて、様子を読む能力を育むことをねらいとした。

【教材の特性】

本教材は、小さな赤い魚の兄弟たちと楽しく暮らしていたスイミーが、まぐろに襲われ、仲間を失ってしまった恐怖や孤独を味わいながらも、海の中ですばらしいものを見つけることを通して元気を取り戻し、最後は新たな仲間と知恵を振り絞って、大きな魚を追い出すという物語である。

この教材の特性は3点ある。1点目は、中心人物を捉えやすく、行動や会話に着目することで、同化しながら読めること、2点目は、一文が短く、言葉の響きやリズムがよいため、語句のまとまりが捉えやすく、音読に適していること、3点目は、多彩な比喩表現を用いて示され、場面の様子が想像しやすいことである。特に、1点目の特性を活かすことで、中心人物に同化しながら想像を広げて読む力を育てることのできる教材である。

【育てたい資質・能力】

知識・技能	中心人物の行動に着目して、人物の様子や気持ちを想像する読み方の理解
思考・判断・表現	各場面で想像した中心人物の様子や気持ちを関連付ける力
主体的に学習に取り組む態度	自分の思いを表現したり、他者の思いに共感したりする態度

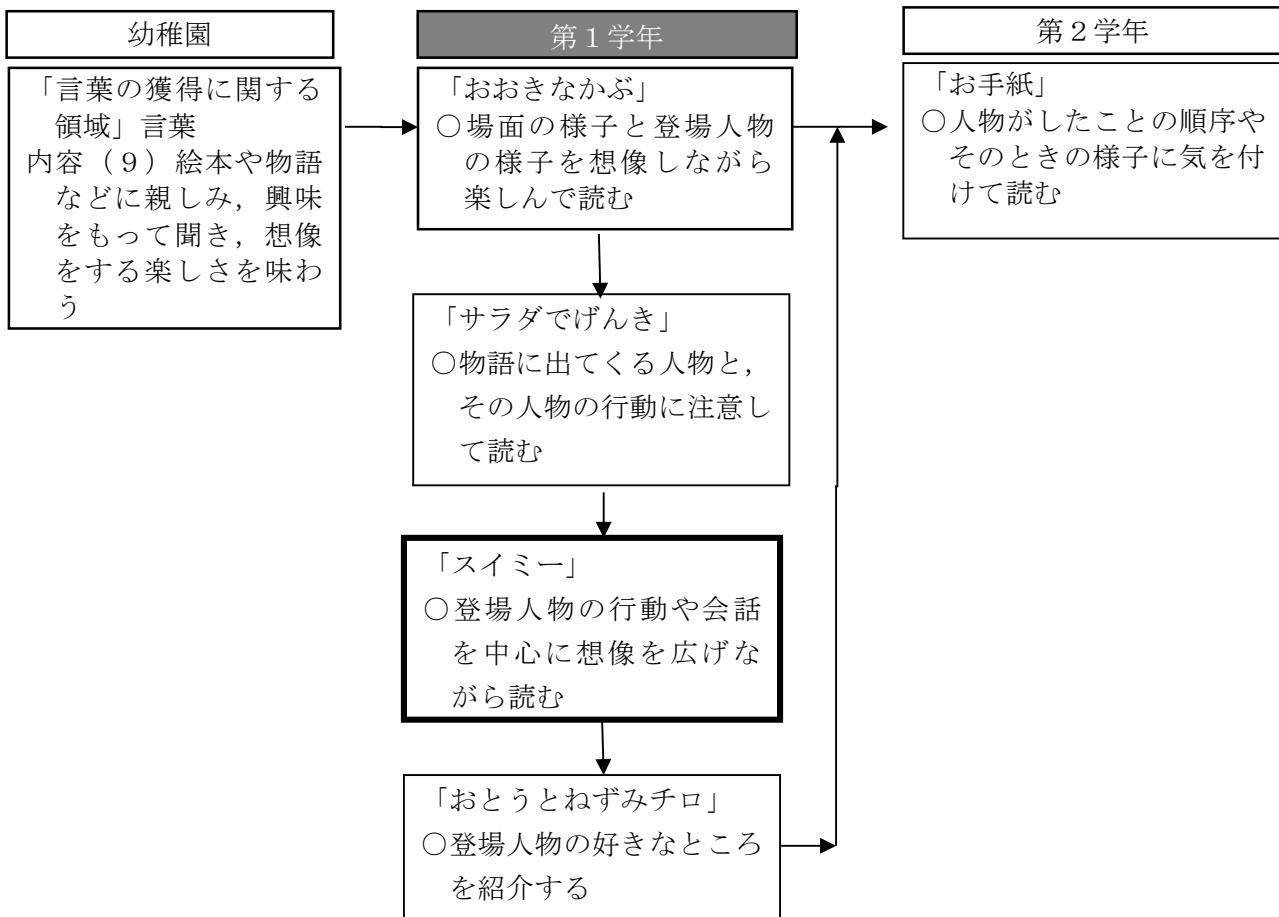
【児童観】

観点	内 容	定着率
読む （既習事項）	<ul style="list-style-type: none"> ○「だれが何をしたのか」を読み取ることができる。 	約 87%
書く・対話する	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の考えをもち、理由を付けて表現することができる。 <p>【アンケート】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ペアやグループの友達と意見を交流することができる。 ○クラス全体の中で自分の考えを交流することができる。 ○友達の意見を自分の意見を広げたり、深めたりすることに活かすことができる。 	約 93% 約 88% 約 93% 約 57%
分析	<p>これまでの学習で、人物がしたことを読み取ることが概ねできるようになってきた。今後は、行動や会話に着目して想像を広げて読む力をつけていく必要がある。</p> <p>ペアやグループ、全体と様々な形態で考えを交流する場を設けてきたことで、進んで自分の考えを伝えようとする前向きな姿勢が多く見られるようになった。また、理由を付けて意見を述べることができるようになった。</p> <p>しかし、友達の意見を共感的に受容することはまだ難しい。ペアトークを意図的に取り入れ、友達の意見を聴く力を付けていく必要がある。</p>	約 87%

【指導観】

単元について	一時間ごとの授業について
○単元を通して、「スイミー日記」を書くという活動を設定する。具体的には、毎時間の授業の中でスイミーに同化し、読み取ったことを基に日記をつけていくようとする。それぞれの時間に書いた日記を単元の最後に全部まとめて一冊の「スイミー日記」として完成させ、別のクラスの友達と保護者に紹介する。	○「スイミーだったら、どのように言うか。」等のスイミーになりきって考える発問を積極的に行い、児童がスイミーの様子や気持ちを想像することができるようしていく。
○三次では、書きためた「スイミー日記」を振り返りながらスイミーに手紙を書く。その活動を通して、読み取ったことを活用し、自分の考えを表現する力を高めていくようとする。	○明るい気持ちを赤、暗い気持ちを青にした「気持ちカード」を使って、各場面のスイミーの気持ちの変化を比較しやすいようにする。
○海の中を感じられるように教室掲示を工夫することで、中心人物により同化しやすいようにする。	○自分の考えを明確にするために、日記の中にスイミーの吹き出しを書けるようにしておく。
	○ペアトークを積極的に取り入れ、友達の意見を聞いて共感したり、新しい考えに気付いたりできるようにしていく。

【他学年との関連】



4 単元の指導目標

- 中心人物になりきって日記を書くという活動に、意欲的に取り組もうとしている。
(国語への関心・意欲・態度)
- 中心人物の行動や会話に着目し、想像を広げながら読むことができる。
(読むことウ)
- 言葉には、意味による語句のまとめがあることに気付くことができる。
(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ (ウ))

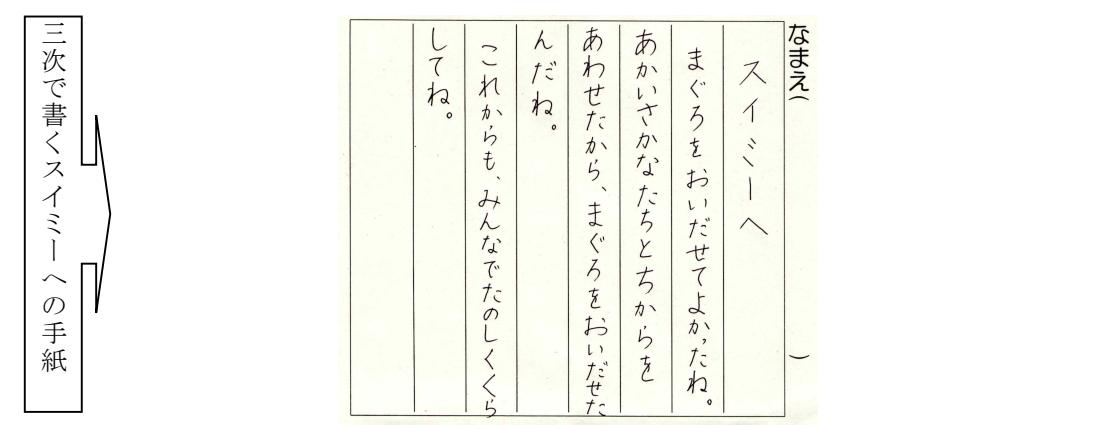
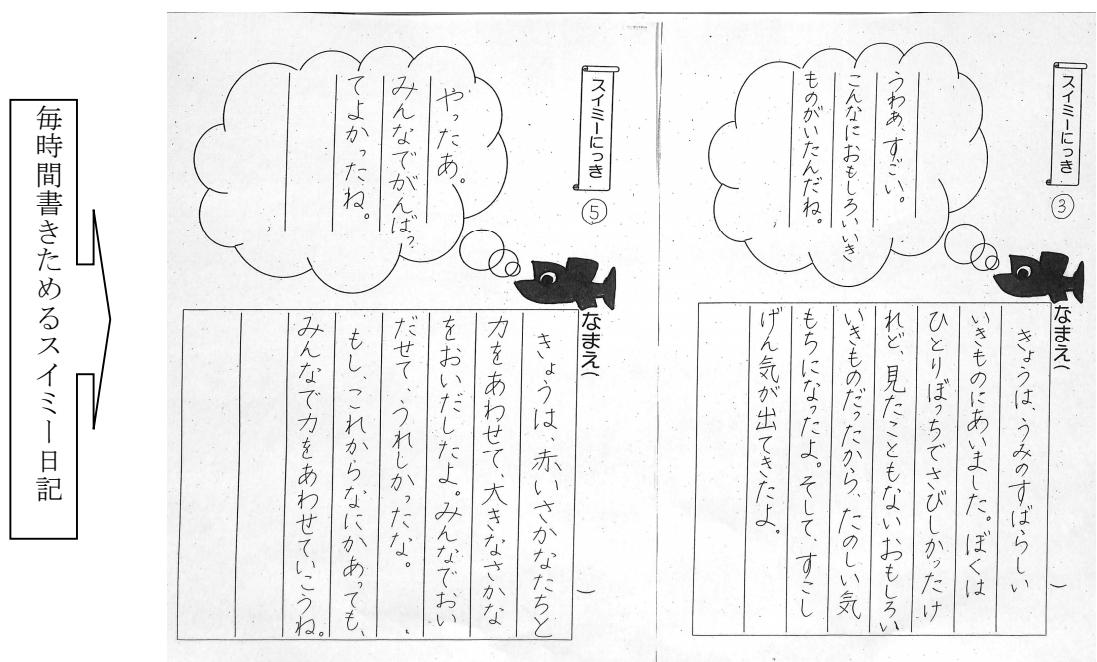
5 単元の評価規準

国語への 関心・意欲・態度	読む能力	言語についての 知識・理解・技能
中心人物の行動や会話について想像を広げながら読み、スイミー一日記に書こうとしている。	中心人物の行動や会話に着目し、中心人物の様子や気持ちについて想像を広げながら読んでいる。(ウ)	言葉には、意味による語句のまとまりがあることに気付いて文や文章を読んでいる。 (イ (ウ))

6 単元のGOAL

パフォーマンス 課題	スイミーの行動や会話から様子や気持ちを想像して読み、スイミーに起こった出来事やその時の気持ちをスイミー一日記に書いて、保護者や別のクラスの友達に物語のすてきなところを伝えよう。		
評 価 規 準	A 中心人物の行動や会話について、物語全体と関連付けて、中心人物の気持ちを想像し、日記に書き表している。	B 中心人物の行動や会話から中心人物の気持ちを想像し、日記に書き表している。	C 中心人物の行動や会話を意識せず、日記を書いている。

[パフォーマンスマネジメント] (B 規準)



7 単元の指導計画（全9時間扱い）

次	学習活動（時数）	評価				
		阅	读	言	評価規準	評価方法
一	・初発の感想を交流し、スイミー一日記を書く見通しを立てる。(1)	○			・物語を読むことに興味をもち、登場人物や場の設定を読み取り、感想を交流している。	観察 発言 ノート
	・挿し絵の並び替えをし、お話の大体をとらえる。(1)		◎	○	・物語の大まかな内容をとらえている。 ・言葉の意味や、語句のまとまりに気付いている。	観察 発言 ノート
二	・スイミーが仲間たちと楽しく暮らしている様子を読み取り、日記に書く。(1)		○		・中心人物の特徴をとらえ、仲間たちと楽しく暮らしている様子を読み、日記に書いている。	観察 発言 ノート
	・まぐろに襲われた時のスイミーの様子を読み取り、日記に書く。(1)		○		・楽しく暮らしていた時と独りぼっちになった時を比べることで、中心人物の様子を読み、日記に書いている。	観察 発言 日記
三	・ひとりになったスイミーが海の仲間に出会い、だんだん元気を取り戻していく様子を読み取り、日記に書く。【1組本時】(1)		○		・ひとりぼっちのスイミーが、くらげやいせえび、見たこともない魚たちなどを見て、少しづつ元気を取り戻していく様子を読み、日記に書き表している。	観察 発言 日記
	・スイミーとそっくりの兄弟に出会い、いろいろ考えている様子を読み取り、日記に書く。(1)		○		・スイミーと小さな魚たちの行動や会話から、これからどのようにしていくかを考えている様子を読み、日記に書いている。	観察 発言 日記
	・大きな魚を追い出したスイミーの様子を読み取り、日記に書く。【2組本時】(1)		○		・みんなで力を合わせて大きな魚を追い出したスイミーの様子から想像を広げ、日記に書き表している。	観察 発言 日記
三	・スイミーへの手紙を書き加えてまとめ、自分の作品や友達の作品を見合い、単元で付いた力を振り返る。(2)	○	◎		・スイミーの行動や会話から想像したことを基に、スイミーへの手紙を書いている。 ・友達と自分の想像したことを比べその良さを見つけている。	観察 日記

【評価問題】（読み・書きの技能）

「ゆうだち」森山 京（光村図書 1年 平成23年度版）

○うさぎの子はたぬきの子に最後に何と言ったか考えて、吹き出しに書きましょう。どうしてその吹き出しを考えたかも書きましょう。

(解答例) 「たぬきさん、ごめんね。いつしょにあそぼうよ。」

あめがやんだあと、2ひきがてをつないではしりだしたので、なかなおりをしたとおもったからです。

8-1 本時の展開（1組）

（1）本時の目標（第5時/全9時）

海の生き物に出会ったときのスイミーの気持ちを考えることを通して、中心人物の様子について想像を広げて読み、まとめることができる。

（2）評価規準

独りぼっちのスイミーが、くらげやいせえび、見たこともない魚たちなどを見て、少しづつ元気を取り戻していく様子を読み、日記に書き表している。

本時で目指す子どもの姿（本時のgoal）

- ・今日は、海のおもしろい生き物に会いました。ぼくは独りぼっちでさびしかったけれど、元気がでてきたよ。
- ・今日は、海の生き物に会いました。見たこともないおもしろい生き物だったから、楽しい気持ちになって少し元気になったよ。

（3）本時の学習展開

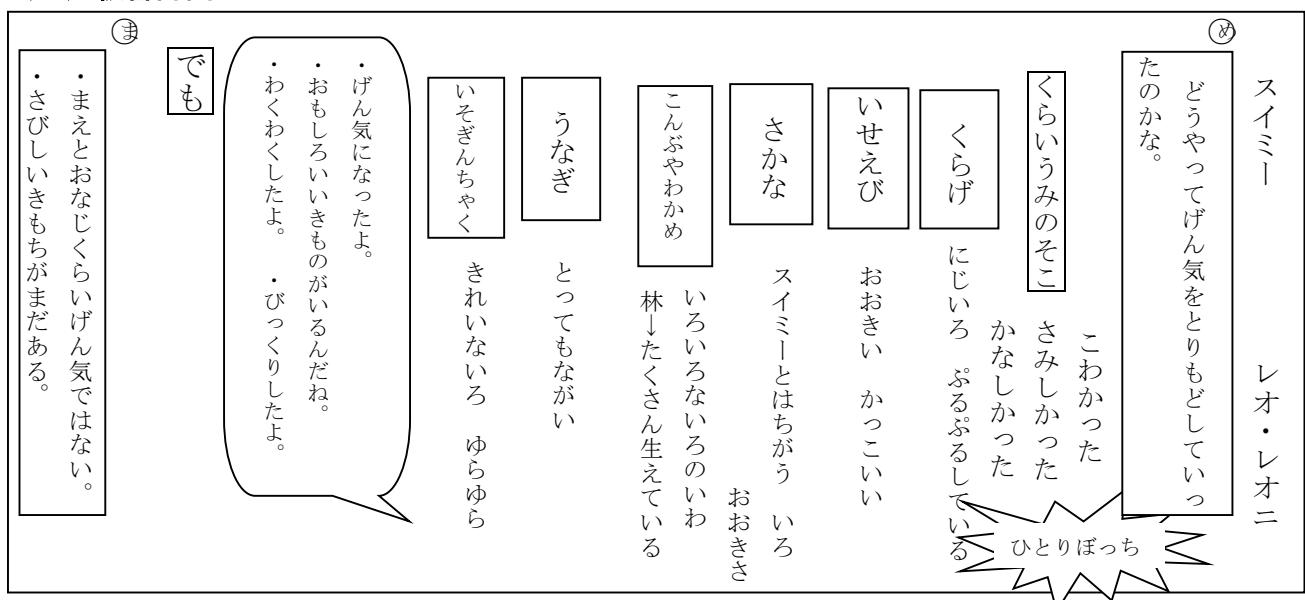
学習活動 ◆指導内容	○主な発問や指示 ・予想される児童の反応	◇指導上の留意点 ◎評価（評価方法）
1 前時の学習を想起し、本時のめあてをつくる。	<p>○前の時間の日記を紹介してください。</p> <ul style="list-style-type: none">・おそろしいまぐろがきて、仲間をみんなのみこんでしまいました。ぼくはひとりぼっちになってしまいました。・ひとりぼっちになって、とてもさびしいよ。 <p>○このままずっとさびしいのかな。</p> <ul style="list-style-type: none">・元気を取り戻していきます。	<p>◇日記を読んで前時までの学習を振り返り、ひとりぼっちになってしまったことをおさえる。</p> <p>◇スイミーの気持ちの変化が分かりやすいように、「きもちカード」で表す。</p>

どうやってげん気をとりもどしていったのかな。

2 本文を音読し、海の生き物を想像する。	<p>○どんな海の生き物に会いましたか。</p> <ul style="list-style-type: none">・にじいろのゼリーのようなくらげ。・水中ブルドーザーみたいないせえび。・みたこともないさかなたち。・ながいうなぎ。・ももいろのやしの木みたいないそぎんちやく。	<p>◇比喩を根拠に、どのような生き物なのかを想像させていく。</p> <p>◇板書から「すばらしい」「おもしろい」生き物であったことを捉えられるようにしておく。</p>
3 おもしろいものを見たスイミーが言った台詞を考える。	<p>○このような生き物を見たら、どの生き物に何と声をかけるだろう。</p> <ul style="list-style-type: none">・きれいなくらげだね。プルプルしていておいしそう。（関連付ける）・かっこいいいせえびだね。大きくてびっくりしたよ。（関連付ける）・海には、こんなにおもしろいものがいたなんて初めて知ったよ。わくわくしたよ。（関連付ける）	<p>◇児童のつぶやきを拾いながら、楽しい雰囲気で想像させる。</p> <p>◇スイミーが様々な生き物に出会うことで、心が前向きになっていることに気付かせていく。</p>

4 1の場面と同じくらい元気になったのかを考える。	<p>○前と同じくらい元気になりましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元気になりました。おもしろい生き物を見て、楽しい気持ちになったからです。(比較する・関連付ける) ・元気になったけれど、前と同じくらいではありません。同じ仲間がいないから、まださびしい気持ちもあります。(比較する・関連付ける) 	<p>◇ペアトークを取り入れ、自分の考えと比べたり友達の考えを受容的に聞いたりすることができます。</p> <p>◇「きもちカード」使って、考え方の違いを視覚化する。</p>
5 今日の学習を振り返り、元気を取り戻した時のスイミー一日記を書く。	<p>○今日の「スイミー一日記」を書きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日は、海のおもしろい生き物に会いました。ぼくはひとりぼっちでさびしかったけれど、元気がでてきたよ。 ・今日は、海の生き物に会いました。見たこともないおもしろい生き物だったから、楽しい気持ちになって少し元気になったよ。 	<p>◇日記を書く前に、今日はどんな日だったのかを考えることで学習を振り返る。</p>
◆人物の行動に着目し、想像を広げて読む		<p>◎ひとりぼっちのスイミーが、くらげやいせえび、見たこともない魚たちなどを見て、少しずつ元気を取り戻していく様子を読み、日記に書き表している。</p>
6 振り返りをする。	<p>○友達の発表を聞いて、「なるほど」や「いな」と思ったことはありますか。</p>	<p>(観察、発言、日記)</p>
7 次時の学習を見通す。	<p>○次の時間は、スイミーとそっくりの小さなさかなをみつけた場面を考えていきましょう。</p>	

(4) 板書計画



8-2 本時の展開（2組）

（1）本時の目標（第7時/全9時）

大きな魚を追い出したスイミーの気持ちを考えることを通して、中心人物の様子について想像を広げて読み、まとめることができる。

（2）評価規準

みんなで力を合わせて大きな魚を追い出したスイミーの様子から想像を広げ、日記に書き表している。

本時で目指す子どもの姿（本時の goal）

- ・今日は、赤い魚たちと力を合わせて、大きな魚を追い出したよ。これからも、みんなで力を合わせたら、大丈夫だね。
- ・今日は、大きな魚を追い出したよ。みんなで1匹の大きな魚に見えるようにするのは大変だったけど、諦めなくてよかったな。これからは、またみんなで楽しく暮らそうね。

（3）本時の学習展開

学習活動 ◆指導内容	○主な発問や指示 ・予想される児童の反応	◇指導上の留意点 ◎評価（評価方法）
1 前時の学習場面を振り返り、めあてをつくる。	<p>○前の時間では、どのような日記を書きましたか。</p> <p>・今日は、ぼくの兄弟とそっくりの魚たちを見つけたよ。面白いものをみんなにも見せてあげたいけど、まぐろが来たら怖いから、どうしたらいいかなあ。</p> <p>○何かいい考えは思いつきましたか。</p> <p>・みんなで大きな魚のふりをして、まぐろを追い出しました。</p>	<p>◇何かいい方法はないかいろいろ考えていた前時の場面を振り返させる。</p> <p>◇追い出すことは簡単だったのかと問い合わせながら、めあてにつなげていく。</p>

大きなさかなをうまくおいたせたのは、なぜだろう。

2 本文を音読し、1匹の大きな魚みたいに泳げるように練習しているスイミーの台詞を考える。	<p>○まずは、大きな魚になるために練習をしていましたね。その時、赤い魚たちに何と声をかけるだろう。</p> <p>・もっと前にくっついて。大きな魚に見えないよ。</p> <p>・自分の場所をしっかりと守ってね。</p> <p>・すき間があいているよ。遅れないようにね。</p> <p><u>○なぜ最後まで諦めなかつたのだろう。</u></p> <p>・大きな魚を追い出して、みんなとまた楽しく暮らしたいからです。（関連付ける）</p> <p>・いつまでも岩かげでじっとしていてもいけないし、もうまぐろに食べられたくないからです。（関連付ける）</p>	<p>◇挿絵を用いて、1匹の大きな魚になれるよう声をかけさせることで、決して離れ離れにならないようにすることと、持ち場を守ることを意識させ、みんなで大きな魚になるまでの苦労を考えさせていく。</p> <p>◇ペアトークを取り入れ、自分の考えと比べたり友達の考えを受容的に聞いたりすることができるようとする。</p>
--	--	---

<p>3 大きな魚を追い出した時のスイミーの台詞を考える。</p> <p>◆人物の行動に着目し、想像を広げて読む</p> <p>5 振り返りをする。</p> <p>6 次時の学習を見通す。</p>	<p>○大きな魚を追い出した時、何と言うだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やったね。みんなと力を合わせたから大きな魚を追い出せたね。これからも、みんなで力を合わせたら大丈夫だね。(関連付ける) ・みんなで大きな魚になれたぞ。ぼくだけ真っ黒だったから、大きな魚の目になれたんだ。真っ黒でよかったな。(関連付ける) <p>○今日の「スイミー日記」を書きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日は、赤い魚たちと力を合わせて、大きな魚を追い出したよ。これからも、みんなで力を合わせたら、大丈夫だね。 <p>○友達の発表を聞いて、「なるほど」や「いいな」と思ったことはありますか。</p> <p>○これまで日記を書いてきて、いろいろなことがありましたね。スイミーにどんな声をかけてあげたいですか。次の時間はスイミーにお手紙を書きましょう。</p>	<p>◇スイミーが赤い魚たちと協力したことと、スイミー自身が自分の良さに気付いて活かせたことによって大きな魚を追い出すことができたことをおさえる。</p> <p>◎みんなで力を合わせて大きな魚を追い出したスイミーの様子から想像を広げ、日記に書き表している。</p> <p>(観察、発言、日記)</p> <p>◇次時では、これまでの「スイミー日記」を振り返りながら、スイミーに手紙を書くことを伝える。</p>
--	---	---

(4) 板書計画

